

2019年 春学期

社会科・公民科教育法1 第14回

5分間の模擬授業と

自己の学びの振り返り

今日の授業の目的の共有

- 模擬授業の教師役として、出来る限りのパフォーマンスをすること。
- 生徒役として本気で演じること。生徒役自身が模擬授業の主役であると感じること。
- この半年の自分の学びの軌跡を振り返ること。

「振り返りジャーナル」について

今日のテーマの候補

「今、振り返りジャーナルを見返してみて、
思ったことは何ですか？」

今日の授業の目次

ブックトークの時間(10分)

【展開】

- 模擬授業の前にイメージの共有
- 模擬授業の実施
- 振り返り

- 振り返りジャーナルの時間

ブックトーク(今日は5分で)

1. 今日は発表者がいません（最初に私はある程度話したので）
2. 次回は感想提出なしです。
3. 今週の「ブックトークの情報共有ネットワークの構築プリント」を配ります。

一日10分でも良いので読書を試してみよう

この授業の目指すコンセプト

1. 学びの「遊び感」を大切にする。
2. 学びの目的意識(≡納得感)を共有することを大切にする。
3. まだ知らない自分自身を再発見し続ける。振り返る。
4. 他者から学ぶ(チームを組む)メリットを実感する。

自分でも気を付けます。

授業やいます。

【確認】模擬授業を行う前に

【教師役に対して】

- 当然ながら、模擬授業では、授業者は、全力で教師を「演じて」もらいます。
- 中途半端な演技はNGです。
- 敬語を使うのはNGです。
- 少しでもへらへらしたら点数は減点されます。
- 「教師だったらどうするか？」をイメージしながら、演じる必要があります。

【確認】模擬授業を行う前に

【生徒役について】

- 生徒役も本気で演じてください。わちゃわちゃ、ノリよくお願いします。
- 「生徒だったらどう反応するか？」を予想しながら、演じる必要があります。中途半端な演技だと、自分の学びになりません（生徒がどう考えるかを予想する経験学習）。
- 何でも正解を言うのが生徒役として良いのかを吟味する必要はある。
- 動画を流します。イメージしてください。

※模擬授業の運営上、授業にある程度積極的な生徒を前提としながら、生徒役は振る舞ってください。

【確認】模擬授業を行う前に

【板書について】

- ホワイトボードとボードペンを板書代わりに使って下さい。
⇒代用品なので、板書計画と書き方が違っててもOKです。
- ⇒貼り切れない資料などは、近くの机に置くなどしてもOKです。

模擬授業について

1. 4人程度でグループを組みます。（グループは指定します。）
2. 模擬授業をする順番を決めます。
3. 最初の一時間で趣旨説明をしてください。
4. 模擬授業は5分間です。
5. 最後の3分を使ってコメントシートを書いてもらいます（時間厳守）。

【重要】提出をお願いします。

1. 学習指導案の提出日です。以下の5点の提出を忘れずにお願いします。印刷は1部でOKです。

- ①学習指導案(A4版で印刷をお願いします)
- ②ワークシート
- ③掲示資料や配布資料などをリストアップした資料
(ワークシート以外)
- ④板書計画
- ⑤該当ページの教科書コピー

※一点でも忘れ物があると、受け取れない場合があります。

2. 模擬授業もあります。後で形式の説明をします。